

## 法政大学授業体験のご案内

### 「社会連携フィールドワーク」

～大規模自然災害発生時の大学キャンパスでの避難生活のマネジメント I～

#### <授業のポイント>

- ・帰宅困難者支援施設運営ゲームとして知られる机上訓練を体験します。
- ・ボランティアとして避難施設の運営に携わることになった場合の心構えや対応力を養います。
- ・想定される多様な避難者と避難所で生じる問題に対して臨機応変に対応することの難しさを学びます。
- ・防災行動に対する複眼的な目を養い、サステナブルな防災意識向上を図ります。

日 程 2024年8月5日（月）1時限～5時限 \*全3日間のうち最終日のみ参加対象  
\*8時50分～18時30分（昼休み休憩50分有り）

場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）

対 象 高校1～3年

定 員 最大30名 \*協定校枠全体につき、応募者多数の場合は学校単位で選抜を行います。ご了承ください。

#### <授業の内容>

大規模自然災害発生直後、公共交通機関が運行を停止している中で、大量の帰宅困難者が一斉帰宅することにより、二次災害を発生させるリスクを高める問題の大きさが政府からも指摘されています。

法政大学は千代田区と防災協定を締結し、帰宅困難者受け入れ施設として学内施設を開放する他、学生ボランティアが帰宅困難者の支援を行うことになっています。しかしながら、災害規模によっては、帰宅困難者滞在の長期化だけでなく、予期せぬ多様な問題が生じる可能性は極めて高く、その一つに健康問題が挙げられます。例えば、生活習慣病等の既往症の悪化や生活不活発病（廃用症候群）、食生活の乱れ、睡眠不足などのほか、精神的な問題も危惧されます。

この授業では帰宅困難者支援施設運営ゲーム（KUG）として知られる机上訓練を体験することで、万が一、学生ボランティアとして避難施設の運営に携わることになった場合の心構えや対応力を養います。KUGには、法政大学教職員とともに取り組み、想定される多様な避難者および避難所で生じる問題に対して臨機応変に対応することの難しさを共に学び、防災行動に対する複眼的な目を養い、サステナブルな防災意識向上に資する大学教育の在り方を探ります。

#### <添付資料>

シラバス：大学授業は単位制です。全科目に授業内容を紹介する「シラバス」があります。